



熊野古道 とがの木茶屋

撮影：和歌山支部 岡野良平

## 焦点

9月20日自民党の第21代総裁に安倍晋三官房長官が決まった。初の戦後生まれで戦後最年少の首相が誕生した。総裁就任の記者会見では「デフレを脱却して、しっかり成長することが財政再建につながる」と述べ、成長戦略を重視して改革を加速する考えを強調した。小泉路線を踏襲して今後も改革を推し進める意向である。

9月26日には新内閣発足。「美しい国創り内閣」と命名。特定の既得権益をもつ団体などの意見にとらわれず、国民全体の利益を目指して政治を進める考えを強調した。税理士による国会議員等後援会からは、文部科学大臣に伊吹文明(京都1区) 沖縄・北方 イノベーション 少子化担当大臣に高市早苗(奈良2

区)の2議員が入閣。後援会活動もますます活発になることを期待したい。

そこで気になるのが規制改革の動きである。規制改革・民間開放推進会議議長の宮内義彦オリックス会長は辞任し、後任議長には草刈隆郎日本郵船会長が有力とのことである。報道によると「草刈隆郎氏は日本経団連を代表して規制改革を担当し、理性を重視する率直なタイプ。規制改革会議そのものの活動が鈍る可能性は低そうだ」。そのような状況の中であって我々税理士は、より一層後援会活動を活発に行い、国会議員を通じて「強制加入、無償独占業務」は現状のまま堅持を要望することを訴え続けなければ、適正な申告納税制度と税理士制度の発展はありえない。

# 第40回定期大会・記念式典・祝賀パーティー開催

～ 9月11日(月)帝国ホテル大阪～

## 会長あいさつ(要旨)

会長に就任して1年が経過いたしました。税政連の活動を見直し、考え方をまとめ、執行部を引っ張ってきましたが、次の1年が勝負と考えております。

現在、税政連の支部や支部連は、かつての衆議院の中選挙区を基にした区割りになっています。これを小選挙区対応に変えるとともに、我々のすべての体制も変えていかなければならないと考え、組織の見直しを組織委員長に指示をしています。

また、会員にタイムリーに情報を提供したいと考え、機関紙は紙面刷新をして、今まで同様に年4回発行してまいります。そのほかに、8月にホームページを立ち上げました。是非ご覧いただき、皆様からのご意見もいただきたいと考えています。

今年度の活動において、皆様にお詫び申し上げなければならないことがあります。税制改正における「特殊支配同族会社の役員給与に係る損金不算入制度」の問題について、会員先生方から、厳しいお叱りをいただいています。

一昨年の反省として情報収集の遅れがありました。同じ失敗をしないという体制の下、比較的早く税政連が情報をキャッチし、これを日税連に報告し、反対運動を行うという指示のもと、行動を開始しましたが、税制調査会や主税局のガードも固い状態であり、残念な結果に終わってしまいました。

税政連は税制に対して公正中立を目指しています。しかし我々のクライアントは中小企業であり、中小企業のためにならない税政連では存在の意味がないと考えます。日本経済を支えてきたのは中小企業であります。昨今の景気回復は大企業が中心で、中小企業を犠牲として利益の出る体制を作ったものです。格差が出すぎています。中小企業を優遇する税制があっても、我々の目指す公正な税制に反するものではありません。税政連として、今後は中小企業のためになる税制に向かって、税理士会とともに活動を進めていきたいと考えています。



会長 北野博也

近税政ホームページ <http://kinzeisei.jp>

### 目次

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 第40回定期大会・記念式典・祝賀パーティー開催..... | 3  |
| 支部連定期大会.....                 | 9  |
| 後援会ニュース.....                 | 14 |
| 公明党/民主党懇談会.....              | 15 |
| ここに人あり～後援会の窓～.....           | 16 |

### 連 載

|              |    |
|--------------|----|
| 焦点.....      | 1  |
| かんさいすずめ..... | 18 |

## 第40回定期大会・記念式典・祝賀パーティー 拳会一致団結し、以て政治力の強化を図り、目標達成を!

第40回定期大会が9月11日、大阪市北区の帝国ホテルで代議員150名、役員155名の出席により盛大に開催され、平成18年度運動方針、収支予算など提出された6議案をすべて原案通り賛成多数で可決した。

### 第40回定期大会

定刻午後1時、天野香鶴子選対委員長が司会となり開会を宣言、議事の円滑な進行について協力を求めた。つづいて、来賓の森金次郎日税連会長、池田隼啓近税会会長、久野峯一日税政会長、小川令持名税政会長、濱田健名税政幹事長、また当連盟の弓岡隆巳名誉会長、高野正康、溝端昭雄、杉上七三夫、井脇健蔵、佐々木政三郎、忠岡清、和田善弘、前川武三、山神清二、大西賢藏各相談役の紹介が行われた。



原綱宗(左)河田秀雄両議長

議事に先立ち、北野博也会長から「昨年の税制改正では特殊支配同族会社の役員給与に係る損金不算入制度が創設されたが、平成19年度税制改正に関する要望が決定され一番目にこの改正を取り上げている。我々の要望を実現するため、国会議員への陳情を実施し、そのためにも来年の参議院選挙にむけて候補者への選挙協力・支援を行うことが必要。また、我々の組織も変化が必要であり、タイムリーな情報提供を行

いたい。その施策として、8月10日当連盟のホームページを立ち上げた、積極的な活用をお願いする。今後とも中小企業のための税制の実現に向けて諸施策を実施したい。会員のご協力とご尽力をお願いしたい」との挨拶がなされた。

ついで、原綱宗代議員(下京支部)、河田秀雄代議員(城東支部)が議長に選任され、議長から議事録署名人2名を指名後、議事に入った。

- 一、平成17年度運動経過報告承認の件
- 二、平成17年度収支決算承認の件  
(関連議案につき一括審議)

井戸本恭次幹事長から、平成17年度運動経過報告の概要、税制改正問題では9つの要望が実現したが一方特殊支配同族会社の役員給与に係る損金不算入制度が創設された経過、地方公共団体外部監査制度・独立行政法人への税理士の登用実績、税理士による国会議員等後援会の状況、公職選挙の支援状況、「所得税確定申告期における税務相談会場」への国会議員の視察実績、会員の税政連意識の高揚策、特に当連盟ホーム



井戸本恭次幹事長



大会決議文朗読

ページの立ち上げの成果、役員連絡会議の開催実績、会員研修会の開催実績、財政問題への取り組み状況等について概略説明、続いて橋本光世財務委員長から財政問題及び収支決算について報告があった。

次いで堀三芳会計監事より監査の結果適法正確であることの報告がなされた。議長より質問意見を求めたところ、武野勝文代議員から簡易課税の届出に関する改正及び特殊支配同族会社の役員給与に係る損金不算入制度が創設された経過、会費収入と日税政分担金についての質疑回答が行われ、その後採決に入り、各議案は賛成多数でいずれも原案通り承認可決された。

三．平成18年度運動方針承認の件

四．平成18年度委員会活動方針承認の件

五．平成18年度収支予算承認の件

(関連議案につき一括審議)

井戸本幹事長から平成18年度運動方針について基本方針と、重点運動のうち特殊支配同族会社の役員給与に係る損金不算入制度の改正な



森金次郎日税連会長

ど、納税者のための公正な税制の実現に向けての運動を強力に推進する旨の説明、井筒潮政策委員長から平成18年度委員会活動方針について委員会ごとに説明、橋本財務委員長から前回定期大会で承認された会費金額変更に基づく収支予算について説明がなされた。議長より質問意見を求めたところ、武野勝文代議員から税理士に関する規制緩和の動向についての質問があり、規制改革・民間開放推進会議の中間答申の内容が説明され、今後とも注視する必要があることが確認された。質疑終了後採決に入り、各議案は賛成多数でいずれも原案通り承認可決された。

六．大会決議承認の件

井筒政策委員長から平成18年度運動方針に基づいた大会決議について説明があり、議長より質問意見を求めたところ特になく、採決に入り賛成多数で原案通り承認可決された。

以上を以て全議案の審議が終了した。議長降壇の後、恒例による大会決議の朗読が行われ、植田潔(東大阪支部)、小串弘明(枚方支部)、清水幸一(左京支部)、瀬古順子(住吉支部)、川崎哲之(旭支部)の各代議員により、大会決議5項目がそれぞれ声高らかに宣言された。



久野峯一日税政会長

続いて、来賓の森日税連会長、久野日税政会長より祝辞を頂戴した後、佐野吉延副会長の閉会挨拶を以て大会は終了した。(後安宏彦)

## 記念式典

岩田守生政策委員の司会により、午後3時10分、記念式典が開会した。定期大会は例年、代議員と役員により開催しているが、はじめての試みとして、記念式典及び祝賀パーティーに一般会員からも参加を募った。

出席者470名と盛況のなか、来賓の紹介が行われ、北野会長から式辞が述べられた。



弓岡隆巳名誉会長(右)

続いて、本連盟第40回定期大会を記念して、本連盟発展に寄与した先生方の紹介がなされ、北野会長より代表として弓岡名誉会長へ感謝状および記念品の贈呈が行われた。



池田隼啓近税会会長

そして、来賓を代表して池田隼啓近税会会長よりご祝辞を頂戴した。

また、多数頂戴した祝電やお祝いのメッセージが披露された。

引き続き、政治評論家の三宅久之氏による「政治経済の動向と直面する諸問題～テレビで聞けない政治の話～」と題した記念講演が行われた。

総裁候補3名の人柄や血筋、総裁決定後の人事についても三宅さんらしい興味深い話をされた。外交問題については、総裁就任後できるだけ早い時期に中国を訪問して外交の正常化を図ることが肝要である旨を安倍候補には伝えたが、実行するかどうかはわからないとの話なので、今後の安倍総裁の動向に注目したい。

三宅先生に対し、南出力利副会長が謝辞のべ盛大なる拍手のなか記念講演は終了した。

最後に、今中英雄副会長の挨拶により記念式典は無事閉会した。(小川由美子)



三宅久之氏(記念講演)

## 祝賀パーティー

今回の国政報告は、記念式典後の祝賀パーティーの中で行われた。村木眞志広報委員長による開宴宣言に始まり、田達満国対委員長により、出席された現職、前職の国会議員、地方議員が紹介され、国政報告、挨拶が行われた。報告及び挨拶をされた現職、前職の国会議員は谷口隆義、平野博文、前原誠司、清水鴻一郎、松本剛明、戸井田徹、滝実、白浜一良、尾立源幸、福山哲郎、松井孝治、末松信介、森元恒雄、中野寛成の各氏、地方議員は新田孝大阪市議会議員、水ノ上成彰堺市議会議員。タイムリーな国会の現況報告と、現在取り組んでおられる政治課題等について披露頂き、出席会員から好評を得た。祝賀パーティーは終始和やかな雰囲気の中で行われ、戸次威左武副会長の閉宴の辞と細谷陸雄副会長の万歳三唱で散会した。(井関孝之)

# 第40回定期大会 記念式典



谷口隆義衆議院議員



平野博文衆議院議員



前原誠司衆議院議員



清水鴻一郎衆議院議員



松本剛明衆議院議員



戸井田徹衆議院議員



滝実衆議院議員



白浜一良参議院議員



尾立源幸参議院議員

# 祝賀パーティー ご来賓



福山哲郎参議院議員



松井孝治参議院議員



末松信介参議院議員



森元恒雄参議院議員



中野寛成前衆議院議員



新田孝大阪市議会議員



水ノ上成彰堺市議会議員



# 大 会 決 議

われわれ近畿税理士政治連盟は、進展する社会の要請に応え得る税理士制度の確立を図るため、

- 一、納税者のための公正な税制確立及び税務行政改善の運動を強力に展開する。
- 一、会計参与制度の定着に向けて、税理士制度と中小企業の立場を踏まえ積極的に対応することとし、会社法をめぐる諸問題に対して強力な運動を展開する。
- 一、税理士制度に重大な影響を及ぼす、税理士の業務及び職域に関する規制改革の動向に対して、強力な運動を行う。
- 一、税理士の職能を活用した公益的業務への参入のため、強力な運動を行う。
- 一、国会議員等の選挙において、われわれの真の代表をより多く当選させるための支援活動を強力に展開する。

以上、決議する。

平成18年9月11日

近畿税理士政治連盟  
第40回定期大会

## 感謝状受彰者

|          |          |        |         |
|----------|----------|--------|---------|
| 池田 隼 啓   | 市川 仁 三   | 井上 悦 治 | 井脇 健 蔵  |
| 岩佐 輝 夫   | 大西 賢 藏   | 柿本 鳳 三 | 亀井 常 可  |
| 川瀬 清 一   | 坂本 稔 男   | 佐々木政三郎 | 佐藤 裕 志  |
| 澤田 登 志 男 | 清水 久 雄   | 菅原 宏 平 | 杉上七三夫   |
| 高須 益 生   | 高野 正 康   | 忠岡 清   | 辻 孝 次   |
| 土肥 通 勝   | 中村 幸 司   | 西口 幸 雄 | 八文字 貞 和 |
| 林 光 伸    | 林 佳 弘    | 春好 幸 雄 | 平井 友 章  |
| 船曳 大 造   | 前川 武 三   | 溝端 昭 雄 | 村上 圭    |
| 森 金 次 郎  | 森田 與 志 次 | 安居 一 久 | 山神 清 二  |
| 山中 静     | 山本 守 昭   | 弓岡 隆 巳 | 和田 善 弘  |

(敬称略・順不同)

# 支部連 定期大会

## 大阪府第1支部連

大阪府第1支部連合会(東、南、西、港、天王寺、浪速、生野、阿倍野、東住吉、住吉、西成)第11回定期大会が9月1日、天王寺東映ホテルにおいて開催された。



岩水明支部連会長

来賓として、柳本卓治衆議院議員、左藤章前衆議院議員、中馬弘毅衆議院議員の倉永悦男事務局長、近税政本部より佐野吉延副会長、鮎川純利総務副会長、また税理士による中馬弘毅後援会の澤田登志男会長、左藤章後援会の赤坂史郎会長、柳本卓治後援会の大和田修三会長が出席した。

前田雅章支部連幹事長が開会を宣し、岩水明支部連会長が「昨年の衆議院議員選挙時の協力にお礼申し上げる。税理士政治連盟は、税理士の権益を守るだけでなく、私達の得意先である中小企業を守り、ひいては日本の税制がどうあるべきかを建議する様な格調高い税政連でありたいと考える」と挨拶をした。

椿井清支部連副会長が議長に選任され、全議案が原案どおり賛成多数で承認可決された。

続いて、佐野近税政副会長より本部の活動が報告された。併せて、会費納入の協力要請、8月10日からホームページが立ち上がっていること、第40回定期大会記念式典の参加要請等があった。

北野博也近税政会長のメッセージを代読した後、竹内秀二支部連副会長の挨拶で閉会した。

議事終了後、国会議員による国政報告会が開催され、柳本議員、左藤前議員、倉永事務局長が熱心に報告された。引き続き懇親会が開催され、盛会のうちに閉会となった。(榎本芳美)

## 大阪府第2支部連

大阪府第2支部連合会(北、大淀、旭、福島、東成、城東、西淀川、東淀川)第11回定期大会が9月15日、ホテル京阪京橋において開催された。

来賓として、近税政本部より佐野吉延副会長、井戸本泰次幹事長、また、当支部連合会の南中平八郎相談役、橋本光世相談役、大西賢蔵相談役が出席し、中尾一仁幹事長が司会となって開会を宣言した。



河田秀雄支部連会長

初めに河田秀雄会長より挨拶があり、18年度の税制改正であったように問題ある改正について、国会議員の先生とその問題を共有して取り組んで行くことが大事であり、そのために各後援会での活動を活発に行い、先生方に税制の問題点を説明して行ってほしいとお願いがあった。

司会者の指名により議長に河田会長が選任され、議事は円滑に進行し、第1号議案から第4号議案まで全て原案どおり承認可決された。

議事終了後、来賓の佐野近税政副会長より定期大会が無事終了したことへのお祝いと、現在税理士政治連盟にある問題として「特殊支配同族会社の役員給与に係る損金不算入制度」を改めるよう要望していくこと、税理士制度の維持について、これらを活動重点項目として取り上げていることを報告された。

定期大会終了後引き続いて、平野博文衆議院議員、北川知克衆議院議員、谷口隆義衆議院議員による国政報告会が開かれた。

平野議員は、島国である日本は大陸的発想でなく海洋的発想を持って外交やエネルギー問題に取り組まなければならないと独自の考えを述べられた。また、偏りの無い健全な政治を行うために民主党にも支援を要請された。

北川議員は、自民党が公約した幼児教育の無償化に取り組んでおり、そのためにも税制の抜本的改革が必要である事を説明された。また、環境税という新しい概念を税制の中で議論して道路特定財源を含めて整理をしていきたいと述べられた。

谷口議員は、議論中の貸金業規制法の問題点についての説明、日本のプライマリーバランスを黒字化するために景気の回復か増税が必要であること、今度の税制改正では減価償却の抜本的見直しが行われ可能性があることを話された。

国政報告を終え、各議員に対し、天野香鶴子支部連副会長より平成19年度税制改正に関する要望書が手渡され陳情が行われた。

続いて行なわれた懇親会では、来賓を代表して井戸本近税政幹事長が挨拶し、大西相談役が乾杯の発声を行なった。

遅れて到着された中山泰秀衆議院議員が登壇し、消費税の複数税率も検討すべきであること、医療制度改革についての考えを述べられた。

各議員を囲んで懇親会は大いに盛り上がり、最後に南中平八郎相談役の挨拶で閉会した。

(前川武政)

## 大阪府第3支部連

大阪府第3支部連合会(吹田、豊能、茨木)の定期大会が、平成18年8月17日、豊能納税協会会議室において開催された。

来賓として近税政本部から佐野吉延副会長が出席した。大西尚史支部連副会長の司会により開会、審議に先立ち、小島隆支部連会長から「我々税理士に与えられている業務の無償独占は政治力で守らなくてはならない。その為には税政連の活動に一層のご協力を頂きたい。また、会費の収納についても口座振替を広く会員先生方に勧めて頂きたい」と挨拶があった。



小島隆支部連会長(中央)

続いて藤田浩司支部連副会長が議長に指名され、議案の審議に入った。議案は第4号議案まであり、後藤房二支部連幹事長、関谷洋子支部連副幹事長からそれぞれ説明があり、すべて原案通り満場一致で承認可決された。議案審議終了後、佐野近税政副会長から本部活動の報告、近税政ホームページ開設、しおり配布のお知らせ、近税政第40回定期大会記念式典の案内などを含めた挨拶があった。大会は平山直樹支部連副会長の閉会の挨拶で終了した。

この後開催された懇談会では、中野寛成前衆議院議員の参加があり、昨年の選挙協力の御礼と共に「税制がめまぐるしく変わる昨今、税理士政治連盟に所属する税理士先生方が一致団結して事にあたらなくてはなりません」と激励の言葉を頂戴した。中野前議員の参加もあって懇談会は盛会のうちに終了した。(井関孝之)

## 大阪府第4支部連

うだるような残暑の中、大阪府第4支部連合会(東大阪・八尾・富田林)第23回定期大会が8月31日午後5時より、大阪市阿倍野区の天王寺都ホテルで開催された。



嶋田新一支部連会長

来賓として近税政本部より北野博也会長、雪松弘総務会長、井筒潮副幹事長が出席した。

司会の石津良行支部連幹事長の開会宣言があり、嶋田新一支部連会長より「運動の成果として、例えば会計参与制度に税理士が参加出来たことなどを考えても、税政連活動の結果が出ている。一人でも多くの先生が参加されることによって団結力が増す、それが積み重なり大きな力となる。個人一人だけの力ではおのずと限界がある。もっと多くの先生方に積極的に参加して欲しい。また、現在会費の収納率が50%少々である。特に会費の収納に関しては理解を賜りたい、そして収納率を引き上げていきたい」と挨拶があった。

続いて、議長に藤本純会員が選出され直ちに議事審議に入り、平成17年度運動経過報告及び収支決算承認の件、平成18年度事業計画及び収支予算承認の件の説明があり、原案通り満場一致で承認可決され無事大会が終了した。

最後に来賓挨拶として、北野会長より、23回定期大会のお祝いの言葉と今後の税政連活動の更なる協力の依頼があった。

その後、懇親会が行われ和やかな雰囲気のもと閉会した。  
(政本彰人)

## 京都府支部連

京都府支部連合会第24回定期大会が9月1日、京都タワーホテルにおいて開催された。

来賓として今中英雄近税政副会長、伊吹文明、前原誠司、清水鴻一郎、の各衆議院議員、西田吉宏、松井孝治、二ノ湯智、福山哲郎の各参議院議員、田中英夫前衆議院議員、京都府知事代理の麻生純副知事、京都市長代理の大槻泰収入役、西田昌司京都府議会議員が出席。



原綱宗支部連会長

谷口康夫支部連副会長が開会を宣した後、原綱宗会長が「①今回の税制改正、特に特殊支配同族会社の役員給与に係る損金不算入制度については、全く唐突な法案の提出であり、中小企業を主な顧客とする我々税理士にとって、到底認められるものではない。近税政、日税政は廃案に向けて頑張ったが、十分な審議がされないまま法案が成立したことは遺憾である。今後も粘り強く反対していきたい。②今年度から会費の納入については自動引き落としとコンビニでの納入も選択できることになったので大いに利用して会費の納入率を上げて欲しい。③9月11日には近税政の第40回定期大会・記念式典が開催される。記念講演の講師は三宅久之氏で今回は役員、代議員以外の一般会員も参加できるので参加して欲しい」旨の挨拶があった。

続いて議事に入り、すべての議案が満場一致で可決承認された。

今中近税政副会長は「今回の税制改正のようなことが今後起こらないようにしたい。そのた

めには情報を早く得ることが必要で、国会議員と税政連が常に勉強会を重ねていくことが肝要である。また、後援会活動を活性化することも大切である」と挨拶。

この後、懇談会が開かれ、盛会のうちに閉会となった。(村木眞志)

## 兵庫県第4支部連

兵庫県第4支部連合会(姫路、竜野、相生)の第25回定期大会が9月6日、姫路商工会議所で開催された。



澤田千博支部連会長

来賓として本部より徳富勲副会長が出席。

司会の西村靖彦幹事長の開会宣言のあと、澤田千博会長が「税政連活動へのご協力に感謝する。前回の衆議院議員選挙では、兵庫11区より戸井田徹議員、松本剛明議員、兵庫12区より河本三郎議員がそれぞれ当選した。国民のよりよい暮らしの実現のため、税理士会には税制に関する建議権が与えられており、それを側面から支援することが税政連の役割である。各後援会には、ぜひご協力をお願いしたい」と挨拶。

続いて、大会議長に北条伸和会員が選出され、全議案が原案どおり承認可決された。

その後、徳富近税政副会長が、「特殊支配同族会社の役員給与に係る損金不算入制度については、これからも辛抱強く改正に向けて要望し続けていきたい。国会議員には申告納税制度及び税理士制度の発展のため、適切な代弁をお願いする」と挨拶のあと、森重行副会長の閉会の挨拶で終了した。(後藤加代子)

## 奈良県支部連

対象支部 奈良、葛城、桜井、吉野

日時 平成18年8月19日(土)

午後4時30分～7時30分

場所 春日野荘(奈良市)

来賓 高市早苗 衆議院議員(奈良2区)

奥野しんすけ 衆議院議員(奈良3区)

滝 実 衆議院議員(近畿比例)

田野瀬良太郎 衆議院議員(奈良4区)

秘書

今中英雄 近税政副会長

奈良県支部連合会定期大会は8月19日、開催された。

はじめに東口哲夫支部連会長が「5月1日から会社法が施行され税理士が明記された会計参与制度が導入された。今後税理士業界あげて取り組むべき制度である。これからも税理士の職域を守り、地位が向上するよう法改正に臨みたい。国会議員の先生方には今後も、税制改正等、日税連の施策実現にご協力をお願いする」と挨拶。

所用のため高市議員が先に挨拶。要旨、「小泉内閣後の次の政権の課題を取り上げたい。多くの問題があるが、敢えて挙げると憲法改正、教育基本法、安全保障、資源争奪戦、領土問題を解決し、経済社会で格差のない安心で安全な社会を確保し、税収のバランスがとれた財政健全化を図れる政治が望まれる。これからも税理士の皆様のご指導を賜りたい」。

その後議案審議に入り全議案が承認可決された。

続いて、税制改正要望書を各国会議員に手渡した後、滝議員が「規制改革は弁護士法の問題を解決しないといけない。次の政権になる人は経済問題を述べていない。2006年1月からドイツの消費税3%アップで経済成長が1%ダウンするので、EU諸国は戦々競々としている。これからも税制改正に関わって、応援していただいた皆様のために頑張る」と挨拶。



東口哲夫支部連会長

次に、奥野議員が「小泉改革は中途半端である。中央が元気で地方が疲弊しているので、中央、地方の格差を埋める必要がある。衆・参議院の定数を減らす等、これからは国民の目線で国民が納得する意見を述べていく。クリーンな企業経営において税理士が中小企業経営者と対話が必要であり、新会社法の会計参与等の制度を活用しその役割を果たしてもらいたい。しっかりした改革路線を進め、これから議員の立場から発言していく」と挨拶。

その後、近税政の今中副会長が挨拶「税理士制度の更なる発展と職域の拡大のため積極的に対応する。そのためにも情報をいち早く得る為に、国会議員と税理士会の勉強会が必要である。これからも国会議員に税制改正の要望書の陳情や提言を行っていく。今後も税政連活動にご理解、ご協力をお願いする」。

最後に、辻井賢博（税理士による奥野しんすけ後援会長）の閉会挨拶で定期大会は無事終了した。

引き続き行われた懇談会において、田野瀬議員秘書が「自民党税調に皆様の意見を反映させたいので意見交換の場をいただきたい」と挨拶。懇親会は多くの意見交換の場となり無事に終了した。（黒田有紀）

## 和歌山県支部連

和歌山県支部連合会定期大会が平成18年8月5日、和歌山市の華月殿において開催された。来賓として、近税政本部より、井戸本泰次幹事長が出席した。

司会の山中盛義会員が開会宣言をし、溝上裕章支部連会長が「前年9月の衆議院選挙で2名の推薦議員が見事当選された。今期は当支部連内で国会議員後援会の結成を計り、我々の真の代表を当選させるべく万全の体制をとりたい。今後とも更なるご支援ご協力をお願いしたい」と挨拶した。



溝上裕章支部連会長

次に森村透会員が議長に選ばれ議案審議に入り、全議案が原案通り承認可決された。続いて、井戸本近税政幹事長が、本部運営への協力に対して感謝の意を述べた後、会費納入の重要性とその収納率を高める施策、税制改正の経過報告と今後の近税政の取組、後援会活動の意義と結成の依頼、今後の更なる支援と協力をお願いを要旨とする挨拶をした。

第2部として、二階俊博衆議院議員、谷本龍哉衆議院議員、世耕弘成参議院議員、鶴保庸介参議院議員いずれも秘書による代理出席であったが、議員からのメッセージを読み上げ国政報告会を行った。その後、各議員に、平成19年度税制改正の要望書を渡し、その趣旨と実現に向けての協力の要請を行った。

引き続き、懇親会が開催され、盛会のうちに閉会となった。（後安宏彦）

## 税理士による後援会ニュース

### 清水こういちろう後援会設立総会

税理士による清水こういちろう後援会設立総会が8月28日、ホテル日航プリンセス京都において開催された。

来賓として、近税政本部より南出力利副会長、井戸本恭次幹事長、また近税政京都府支部連より原綱宗会長、久保田純一郎幹事長が出席した。



萩恒夫会員が司会を務め開会を宣言し、まず初めに市川仁三発起人代表が「清水先生の高い見識と多くの経験を生かし、今後、税理士業界と中小企業のために活躍されることを支持し、激励申し上げるために後援会を結成することとなった」と設立の趣旨を説明した。

その後、田中英文議長の下、後援会規約、運動方針と収支予算、役員人事が次々に承認され、市川発起人代表が会長、田中明発起人が幹事長に就任するなど役員体制が発足した。

続いて南出近税政副会長より「国民の目線に立った政治をしていただき、また税理士制度の維持発展のために、お力添えを期待しており、後援会としても支援していく。原会長より「税理士制度のためだけではなく、税を通じて広く国民のためにも、我々税理士の声を国政の場に反映していただきたい」と祝辞を述べた。

次いで、清水こういちろう議員が登壇「税理士業界はもとより、中小企業のためにも、設立総会で承認された運動方針に従い、精一杯の勉強と活動をしてまいります」との力強い抱負を

述べられた。

最後に、谷久夫会員が「運動方針に則り、国政選挙に際しては、清水先生を国会に送り出す万全の応援を行い、あわせて先生との情報交換を密にし、後援会組織の拡大を推進する」ことを約束し総会は閉会した。

総会後は席を移し、市川会長の挨拶の後、井戸本近税政幹事長が祝辞を述べ、久保田支部連幹事長の乾杯の発声で懇談会が始まり、終始和やかな雰囲気のまま、万歳三唱で盛会裏に終了した。  
(吉田和之)

### 中山泰秀後援会定期総会

税理士とその関与先による中山泰秀後援会第2回定期大会が9月19日、帝国ホテル大阪において開催された。

来賓として、中山泰秀衆議院議員、近税政本部より福長俊之副幹事長、天野香鶴子副幹事長、山神清二相談役が、大阪府第2支部連より河田秀雄会長が出席した。



新田博之会長

松本圭一総務委員長が司会となり開会を宣言した後、新田博之会長が「役員給与の一部損金不算入という中小企業にとって不公平と思われるような規定が国会で十分議論されること無く通ってしまうことが今後無いように、中山先生と十分に議論し、税理士の代表として我々の意見を国会へ上げていただけるよう会としていっそうの支援をしていきたい」と挨拶した。

次に新田会長が議長に選任され平成17年度活動経過及び収支報告をはじめとする全議案を承認可決した。来賓代表として山神近税政相談役が挨拶した後、原田徹常任副会長のことばで定期大会は閉会した。

引き続いて、山田忠良常任副会長の司会により中山泰秀衆議院議員の時局講演が行われた。その内容は、日本にとって大阪経済の活性化は非常に重要であり、そこで企業が登記すれば税金等の優遇を受けることが出来るインセンティブを設けた経済特区を設定したり、少子高齢化時代の福祉財源として消費税増税が言われるが、複数税率を適用することで負担意識を和ら

げることが出来るのではないかとということ。また、寄付金に対する税制優遇も設けて税金による負担を軽減することも出来る等、具体的なアイデアを力強く話された。講演後、天野近税政副幹事長より平成19年度税制改正要望書が手渡され陳情が行われた。

続いて、木下泰三厚生委員長の司会で懇親会が開かれた。新田会長の挨拶の後、来賓を代表し前川武三近税政相談役が挨拶され、河田秀雄第2支部連会長が乾杯の発声を行った。会場には中山正暉元衆議院議員も参加され、参加者との活発な意見交換が行われた。(前川武政)

## 公明党大阪府本部「政策要望懇談会」 民主党大阪府連「秋季政策・制度集中意見交換会」

7月28日、公明党大阪府本部において、「政策要望懇談会」が開催された。

公明党からは白浜一良参議院議員、山本香苗参議院議員、野田昌弘大阪府議会議員のほか、衆参議院議員の秘書が出席した。



懇談では、規制改革について、強制加入と無償独占の意義について税理士会の立場を説明し、理解を求めた。また、平成18年度税制改正における「特殊支配同族会社の役員給与に係る損金不算入制度」について、税制改正内容とその手続の問題に対し、遺憾である旨を伝えるとともに、平成19年度税制改正について、内容説明を行った。

一方9月22日には、民主党大阪府連において「秋季政策・制度集中意見交換会」が開催された。



民主党からは藤村修衆議院議員、平野博文衆議院議員、長安豊衆議院議員、尾立源幸参議院議員、吉田治前衆議院議員、稲見哲男前衆議院議員、中野寛成前衆議院議員が出席した。

懇談では規制改革の問題と税制改正の問題を中心に意見交換が行われた。規制改革の問題については、概ね理解が得られた。また、「特殊支配同族会社の役員給与に係る損金不算入制度」について、平成19年度税制改正において、法律の適用停止や対象会社・適用除外要件を改めるよう要望を行った。

いずれの改革や改正も、法律案として国会において審議されるものであり、推薦国会議員には、税理士会及び税政連の立場を十分に理解の上、力添えをお願いしたいものである。

# ここに人あり

## 後援会の窓

### 戸井田とおる後援会 (衆議院議員・兵庫11区・自民党)

戸井田とおる代議士は、厚生大臣を務められた戸井田三郎氏の二世議員である。平成8年10月の第41回総選挙で笹山宏二郎会長を先頭に「税理士による戸井田三郎後援会」は、この選挙戦を総力で応援していたが、代議士が選挙戦真っ只中、突然心筋梗塞で倒れる。その折「倒れたことだけは誰にも言うな」「明日の橋本総理の街頭演説には必ず出る」と言い残したが、叶わないまま肺炎を併発し急逝された、時に10月13日であった。



内藤強会長

前小泉首相の飯島秘書官から「告示後でも明日までならギリギリ立候補出来るよ」との助言を受け、急遽自民党公認候補として補充立候補、激戦を制し初当選したのが、戸井田とおる代議士の誕生である。

その後、笹山宏二郎会長のもと、平成9年8月22日「税理士による戸井田とおる後援会」を設立。戸井田代議士には、確申期相談会場視察、税制改正要望事項の陳情等、その都度積極的に我々税理士会のため奔走いただいていた。

しかし第42、43回総選挙で惜敗したが、この長い空白期間にも係わらず、会員との信頼の絆を途ざすことなく努力され、強い政治に対する情熱が通じ、第44回総選挙(平成17年9月11日)にて自民党公認候補として3期ぶりに見事再選を果たした。

現在、厚生労働委員会において「歯科医療関連」、衆院本会議において「国民年金法案等改正法案関連」「教育基本法関連」「学校教育法等改正法案関連」などについて積極的に質問・発言を行い、エネルギーに活躍されている。

戸井田代議士の今後の大いなる活躍を期待し、後援活動を続けていきたい。



安倍総理と懇談する戸井田議員(右)

#### 戸井田徹衆議院議員 略歴

中華人民共和国河南省生まれ  
 昭和50年 獨協大学法学部法学科卒業  
 昭和51年 戸井田三郎公設秘書  
 平成2年 厚生大臣秘書官  
 平成6年 政策担当秘書  
 平成8年 第41回総選挙初当選  
 平成17年 第44回総選挙返り咲き当選  
 現 在 内閣委員会理事、厚生労働委員会委員  
 教育基本法特別委員会委員  
 自民党内厚生労働部会及び文部科学部副部会長  
 党出版局長

# ここに人あり

## 後援会の窓

### 西村やすとし後援会 (衆議院議員・兵庫9区・自民党)

西村やすとし議員は平成11年7月、「政治が変わらなければ、日本は変わらない。政治が国の方向性、政策の指針を示すべし」との信念のもと、通産省官僚としての限界を感じて退官し政治家を志し、平成15年の総選挙において初当選を果たしました。

当選後は若手議員のリーダー格として国政に奮闘され、その実績の評価のもと、平成17年の総選挙においては連続二期当選を果たし、内閣委員会議事、農林水産委員会委員、国際テロ防止及びイラク人道支援特別委員会理事、商工・中小企業関係団体副委員長、経済活性化税制議員連盟事務局次長、コンピューター会計推進議員連盟事務局次長を務められ、その職責を果たすとともに、税理士制度改革推進議員連盟にも所属しております。

また、現在日本が抱える様々な問題について積極的に取り組んでおり、外交事案においては海洋政策(東シナ海)特別委員会事務局長、対北朝鮮経済制裁シュミレーションチーム事務局長等の任にある一方、ニート・フリーター問題、少子化問題等、深刻化する国内問題にも自ら先頭に立ち行動する姿は、私ども後援会にとっては非常に頼もしく、西村議員の諸問題に対する積極的な姿勢は今の国政に十二分に反映されているものと確信しています。

その人情味あふれる温厚な人柄とは対照的に、政策に対しては決して妥協しない政治姿勢に今後も最大限の支援を送り続けたいと思っています。



河合正美会長



安倍総理と懇談する西村議員(左)

#### 西村やすとし衆議院議員 略歴

昭和37年10月15日兵庫県生まれ。  
神戸大学附属明石中、灘高、東大法学部卒業。通産省入省後、米国メリーランド大学院卒業。  
平成11年 通産省退官  
平成12年 第42回総選挙立候補  
平成15年 第43回総選挙初当選  
平成17年 第44回総選挙2期目当選  
現 在 内閣委員会議事  
農林水産委員会委員  
国際テロ防止及びイラク人道支援特別委員会理事

## ガソリン代が値上げされて

国際的な原油価格の高騰を受けて、ガソリン代が少しずつ値上がってハイオク・レギュラーとも、それぞれ150円台・140円台の値段になってきました。スタンドで満タンに給油して一万円札で払うと、おつりが2～3千円程度あるだけです。僅か数年前の1リットル100円前後の時代がずいぶん懐かしく感じます。これから先も小売り価格が上昇する可能性は否定できません。直接原価に影響する運送業界をはじめ、経済的にもあらゆる業界に少しずつ影響してくるものと思われます。

これだけ自動車が普及し生活必需品と化し、ビジネスやレジャーに使用され、高速道路も日本中に通じており、現代社会においてはなくてはならない物になりました。でも、ガソリン代の値上げをきっかけに、自分自身にも当てはめて何でも車で移動するその行為を変えようと考えています。毎日高速代を払って通勤する。これは金銭的にも負担になるし、排気ガス等は環境面にも大いに悪影響を及ぼす。また、歩かないということは健康にも余りよくない。たしかに車は便利だし何かにつけて楽です。でも自分の体の事などを考えると歩くこと、そして電車等の公共機関を利用しようと思ってます。駐車する場所に気を使わなくてよいし、酒を飲んでも何も心配はいらないし、また以前と違った行動範囲が出来てくると思います。道路交通法も改正され、違法駐車に対する取り締まりも強化されました。その影響がどうかはわかりませんが大阪市内の都心では時間決めの駐車場も、昼間はいつも満車状態です。少しでも歩いて汗をかくことは健康にすごくいいし、すべて自動車を使用するのをやめるのは不可能ですけど、必要最低限に抑えて毎日を送っていこうと決意しました。

(東大阪支部 政本彰人)



## 近税政本部のうごき

現金監査(7月3日)

松本剛明支援の集い(7月3日)

政策委員会・組織委員会合同小委員会(7月3日)

平成18年度・第1回広報委員会(7月5日)

国対委員会・選対委員会・後援会对委員会合同委員会(7月11日)

政策委員会・組織委員会合同委員会(7月14日)

平成18年度・第1回財務委員会(7月20日)

平成18年度・第1回正副幹事長会(7月27日)

公明党大阪府本部「政策要望懇談会」(7月28日)

平成18年度・第1回幹事会(8月2日)

平成18年度・第1回総務会(8月4日)

和歌山県支部連合会定期大会(8月5日)

会計監査(8月8日)

大阪府第3支部連合会定期大会(8月17日)

奈良県支部連合会定期大会(8月19日)

税理士による清水こういちろう後援会設立総会(8月28日)

大阪府第4支部連定期大会(8月31日)

大阪府第1支部連合会定期大会(9月1日)

京都府支部連合会定期大会(9月1日)

谷口隆義君と明日の日本を語る集い(9月4日)

兵庫県第4支部連合会定期大会(9月6日)

滋賀県支部連合会定期大会(9月8日)

第40回定期大会・記念式典・祝賀パーティー(9月11日)

大阪府第2支部連合会定期大会(9月15日)

平成18年度・第2回広報委員会(9月15日)

税理士とその関与先による中山泰秀後援会定期大会(9月19日)

民主党大阪府連「秋季政策・制度集中意見交換会」(9月22日)